

この人に聞く

熊本地震

[illegible]

コミュニティとの連携を

外国人被災者支援 備えは？



○やぎ・ひろみつ 鎌本市中央区
出身。青山学院大学卒業。同社に勤
務。1997年4月から市国際交流振興
事業団企画事業課。2011年4月から
現職。54歳。

[illegible]

The foreign sufferers assistance prepared?
Cooperation with International community
The Kumamoto Nichinichi Shinbun
(Morning Issue)(June.28th.2016)

「孤立感強ク感じタ」

言語に不安支援訴え

[illegible]

県内外国人 被災体験語る

[illegible]

The Foreign took about their experiences
in Kumamoto Earthquake
The Kumamoto Nichinichi Shinbun
(Morning Issue)(October. 12th, 2016)

被災者支援を通して

それぞれ感じる思い



一般財団法人 南本市国際交流協会の専任
事務局長
八木 浩光さん
熊本県では東暦4月15日と本暦の16日・
30日、南本市国際交流会館に招かれた外国人親
戚近縁者もスタッフと共に運営。海外メディアからの
取材や、大管絃・琴楽館からの伝統外国の音楽等
など、海外へは遠くついても来賓は来賓に歓迎され

[illegible]

地域と外国人が支え合う姿通じ
多文化共生社会のあり方を考える



To help the International victims
through each feels the desire
The Kumamoto Nichinichi Shinbun
(Morning Issue)(October.30th.2016)

被災外国人 言葉の壁



【外国人に分かりやすい「電気」】

・簡単に注意してください
→矢を付けてください

・断水や停電が起いています
→水と電気が使えません

→

「僕が来る地獄」
君崎博一
—みんなが逃げるところ

●吹き出し
—誰かへ「食べ物を作って配る」

(※弘前大学文化科学研究部「震災の
ための『やさしい日本語』研究会」
発行のパンフレットに掲載された)

[illegible][illegible]

The Foreign s
The Yomiuri S

[illegible][illegible][illegible]

The Foreign sufferers of language barriers
The Yomiuri Shinbun(Morning Issue)
(June.12th.2016)